

社団法人北上地区勤労者福祉サービスセンター 平成21年度事業報告

(1) 加入状況

平成22年3月の会員数は、平成21年度4月の2,295名から62名減少し、2,233名となった。

退会者の内、約40%が事業所退会であり、一方、入会者の約10%が新規で残り約90%が追加入会である。こうしたことから新規入会獲得が大きな課題であることがよく分かる。

■会員の入退会の状況（人）

月	会員数	入会者数	退会者数	入会－退会
4月	2,295	52	22	30
5月	2,325	9	16	-7
6月	2,318	16	38	-22
7月	2,296	14	33	-19
8月	2,277	5	17	-12
9月	2,265	19	19	0
10月	2,265	5	17	-12
11月	2,253	21	15	6
12月	2,259	6	11	-5
1月	2,254	1	11	-10
2月	2,244	5	16	-11
3月	2,233	-	-	-
合計		153	215	-62
(内、新規/事業所退会)		18	95	-77
(内、増/減)		135	120	15

■市町村別会員数の状況（人）

市町村名	会員数				増減		
	H22.4	H21.4	H20.4	H19.4	H22-H21	H21-H20	H20-H19
北上市	1,683	1,721	1,840	1,835	-38	-119	5
	75.3%	75.0%	75.3%	75.3%			
西和賀町	79	85	78	80	-6	7	-2
	3.5%	3.7%	3.2%	3.3%			
花巻市	204	216	231	219	-12	-15	12
	9.1%	9.4%	9.5%	9.0%			
奥州市	115	117	122	125	-2	-5	-3
	5.2%	5.1%	5.0%	5.1%			
金ヶ崎町	57	55	64	61	2	-9	3
	2.6%	2.4%	2.6%	2.5%			
その他県内	78	83	91	96	-5	-8	-5
	3.5%	3.6%	3.7%	3.9%			
その他県外	18	18	18	20	0	0	-2
	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%			

(2) 事業の実施状況

① 共済給付事業

前年度と比較して件数は横ばいであるが、給付額では46万円の減である。これは、会員本人の死亡と住宅災害の金額の大きい給付事由の発生件数が前年度と比較して少なかったことが起因している。

会員数が、減少している中でも給付件数が横ばいであることから、共済事業への認知度が高くなったと考える。

■ 平成21年度給付事由別件数及び給付額

共 済 事 由	平成21年度		平成20年度		差異	
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額
結婚	43	430,000	53	530,000	-10	-100,000
子の出生	70	700,000	63	630,000	7	70,000
子の入園（幼稚園・保育園）	53	265,000	57	285,000	-4	-20,000
子の入学（小学校・中学校）	138	690,000	165	825,000	-27	-135,000
成人（20歳）	7	35,000	11	55,000	-4	-20,000
還暦（60歳）	64	640,000	50	500,000	14	140,000
歳祝（33歳・42歳）	44	220,000	32	160,000	12	60,000
結婚記念（25年目）	20	200,000	25	250,000	-5	-50,000
永年勤続（20年・30年）	57	570,000	22	220,000	35	350,000
会員本人死亡	1	100,000	5	500,000	-4	-400,000
会員家族死亡（親）	53	530,000	51	510,000	2	20,000
会員家族死亡（子）	1	20,000	2	40,000	-1	-20,000
会員家族死亡（配偶者）	1	30,000	2	60,000	-1	-30,000
傷病休業（14日～29日）	9	45,000	17	85,000	-8	-40,000
傷病休業（30日～59日）	5	50,000	7	70,000	-2	-20,000
傷病休業（60日～89日）	4	60,000	2	30,000	2	30,000
傷病休業（90日～119日）	4	80,000	2	40,000	2	40,000
傷病休業（120日以上）	0	0	9	270,000	-9	-270,000
後遺障害	0	0	0	0	0	0
住宅災害（自然・火災）	0	0	3	125,000	-3	-125,000
介護休業（30日以上）	1	10,000	1	10,000	0	0
育児休業（3ヶ月以上）	14	140,000	8	80,000	6	60,000
合 計	589	4,815,000	587	5,275,000	2	-460,000

■ 給付種別件数及び給付額

種 別	平成21年度		平成20年度		差異	
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額
祝金	496件	3,750,000円	478件	3,455,000円	18件	295,000円
弔慰金	56件	680,000円	60件	1,110,000円	-4件	-430,000円
見舞金	37件	385,000円	49件	710,000円	-12件	-325,000円

■ 共済給付事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
共済給付金	3,945,000	共済掛金	4,815,000
事務手数料	124,731	共済給付金	5,893,344
清算掛金	724,779		
合計	4,794,510	合計	10,708,344
		収支差額	-5,913,834

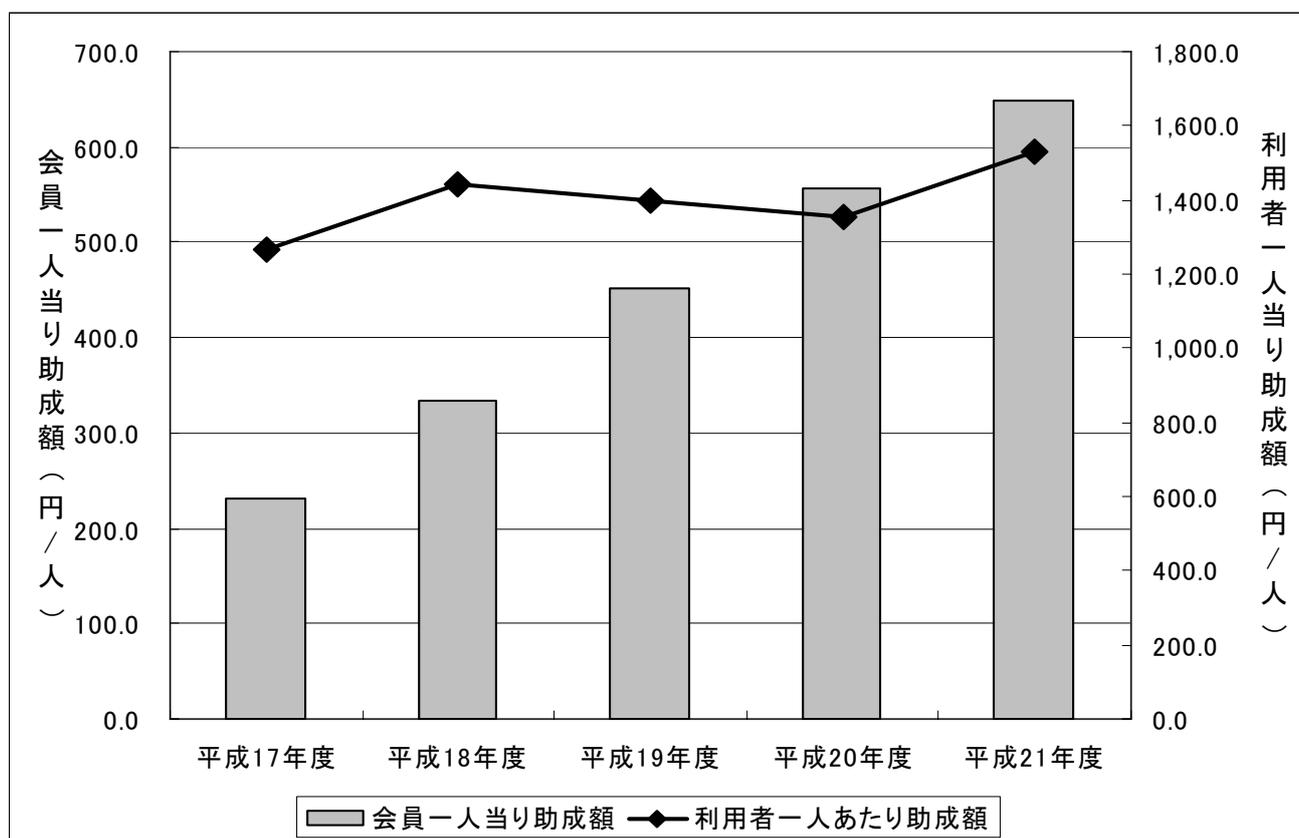
② 生活安定支援事業

平成21年度も経済的に不安定な要素が多い事から、家計に与える影響が大きいと判断し、昨年度と同様に灯油需要が増加する12月～3月までの期間限定で、灯油助成を実施した。

前年度と比較して助成額で153千円、会員一人当たりの助成額で92.4円、利用者一人当たりの助成額で176.2円増加した。

会員数が減少しているものの助成額が増加していることから需要の高い事業といえる。

■ 会員及び利用者一人当たり助成額の推移



■ 灯油助成券利用状況

内容		平成21年度	平成20年度	増減
会員1名につき 12月～翌年3月 まで月1回500 円分助成券発行	利用人数	945人	955人	-10人
	実績額	1,447,000円	1,294,000円	153,000円
	会員1人当たり助成額	648.0円/人	555.6円/人	92.4円/人
	利用者1人当たり助成額	1,531.2円/人	1,355.0円/人	176.2円/人

■生活安定支援事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
		生活安定助成金	1,447,000
合計	0	合計	1,447,000
		収支差額	-1,447,000

③健康管理事業

定期健康診断、生活習慣病健診、人間ドックの受診に際し、会員1人あたり年度内1回の助成を実施した。助成額は、定期健康診断で上限1,000円、生活習慣病健診で35歳以上の会員で健診料の50%以内の上限3,000円、人間ドックで40歳以上の会員で健診料の50%以内の上限10,000円である。

会員数の減少にともない利用人数及び助成額ともに減少しており、前年度と比較して利用人数で約10%減少した。

■健康診断助成の利用状況

健康診断種別		平成21年度	平成20年度	増減
定期健康診断	利用人数	509人	651人	-142人
	助成額	508,630円	650,630円	-142,000円
生活習慣病健診	利用人数	468人	477人	-9人
	助成額	1,357,591円	1,383,970円	-26,379円
人間ドック	利用人数	57人	53人	4人
	助成額	539,427円	519,936円	19,491円
合計	利用人数	1,034人	1,181人	-147人
	助成額	2,405,648円	2,554,536円	-148,888円

■健康管理事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
		定期健康診断助成	508,630
		生活習慣病健診助成	1,357,591
		人間ドック助成	539,427
合計	0	合計	2,405,648
		収支差額	-2,405,648

④健康増進事業

前年度と同様にコナミスポーツクラブ北上と、森山総合公園生涯スポーツセンターの利用を助成した。

利用状況は、コナミスポーツクラブ北上で83人、森山総合運動公園生涯スポーツセンターで725人の利用があったが、前年度と比較して117人減である。また、会員一人あたり利用回数は森山総合公園生涯スポーツセンターで0.03回/人減少した。

■健康増進施設の利用状況

利用施設名		平成21年度	平成20年度	増 減
コナミスポーツ クラブ北上	利用人数	83人	90人	-7人
	会員一人当り利用回数	0.04回/人	0.04回/人	0.回/人
森山総合公園生涯 スポーツセンター	利用人数	725人	835人	-110人
	会員一人当り利用回数	0.32回/人	0.36回/人	-0.03回/人

■健康増進事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
		スポーツクラブ年会費	105,000
		スポーツクラブ利用券代	0
		森山総合公園利用助成	145,000
合計	0	合計	250,000
		収支差額	-250,000

⑤自己啓発支援事業

会員1人につき年度内1回で国家資格の受験・受講に対して助成を実施した。利用人数は、前年度より若干増え177人、助成額は859,900円となった。

助成対象となった資格は、下表に示すとおりである。下表の資格で最も多いのが情報処理関連資格で応用情報処理、基本情報処理、情報セキュリティスペシャリスト、データベーススペシャリスト、ITパスポート、プロジェクトマネージャー、ネットワークスペシャリスト、システム監査技術者、テクニカルエンジニア（ネットワーク）の9種類で95人に助成を実施している。

■資格取得助成の利用状況

	平成21年度	平成20年度	増 減
利用人数	177人	165人	12人
助成額	859,900円	822,150円	37,750円

■助成対象となった主な資格

資格名	助成人数	資格名	助成人数
応用情報技術者	41	1級建設機械施工技士	1
基本情報技術者	23	1級土木施工管理技士	1
危険物取扱者	14	2級ボイラー技士	1
情報セキュリティスペシャリスト	11	2級土木施工管理技士	1
データベーススペシャリスト	10	3級自動車整備技能士	1
介護福祉士	10	ガス主任技術者	1
ガス溶接技能講習	8	システム監査技術者	1
液化石油ガス設備士	6	第1種電気工事士	1
1級管工事施工管理技士	3	テクニカルエンジニア（ネットワーク）	1
2級管工事施工管理技士	3	看護師	1
ITパスポート	3	管理栄養士	1
業務主任者	3	管理理容師資格認定講習会	1
プロジェクトマネージャー	3	技術士	1

資格名	助成 人数	資格名	助成 人数
業務主任者	3	建築物環境衛生管理技術者	1
第2種電気工事士	3	国内旅行業務取扱管理者	1
第2種販売主任者	3	浄化槽設備士	1
甲種消防設備士	2	貸金業務取扱主任者	1
ネットワークスペシャリスト	2	第1種衛生管理者	1
給水装置工事主任技術者	2	第1種販売主任者	1
自動車検査員	2	第2種冷凍機械責任者	1
丙種化学責任者	2	宅地建物取引主任者	1
1級建築士（構造設計）	1	特定社会保険労務士	1

■自己啓発支援事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
		資格取得助成	859,900
合計	0	合計	859,900
		収支差額	-859,900

⑥教養講座開催事業

教養講座は、6月と11月に北上コンピュータアカデミー主催の「パソコン教室（エクセル基礎・応用、アクセス基礎・応用）」、2・3月に指定店ラ・スカラの「イタリア家庭料理教室」への助成を実施した。その結果、イタリア家庭料理教室に7名が参加した。

■教養講座利用状況

	平成21年度	平成20年度	増減
利用人数	7人	19人	-12人
助成額	25,200円	24,600円	600円

■教養講座開催事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
		提携講座受講助成金	25,200
合計	0	合計	25,200
		収支差額	-25,200

⑦余暇活用事業

余暇活用事業として次頁の表の事業を実施した。

ツアーは、高速料金の値下げなどを考慮し、交通費のみを参加者に負担していただくツアーを実施した。仙台のアウトレットモールや八食センターなどは一度行ってみたい場所へのツアーだったこともあり、好評であった。スキーツアーも天候に恵まれたこともあり、好評であった。

イベントは、前年度から指定店ラ・タヴェルナ主催のワイン会と、アリーブ主催のビール会に協賛し、90人の参加があった。

チケットは、プロ野球観戦チケットや北上牛フェスティバル、前売リフト券の販売を実施したが、販売枚数は大きく減少した。特に夏油高原スキー場の前売リフト券は前年度より約700枚減り、その他県内のスキー場と比較しても大きく枚数を減少させた。

旅行代理店が企画した「ねぶた祭り」、「大曲花火大会」、「仙台湾フェーリー」のツアーに助成を実施し、19人の利用があった。前年度と比較して若干利用者は増えている。

E T C 車載器の購入及び取り付けに対する助成は、91人に助成を実施した。前年度の55件と比較して36件増え、休日1,000円で乗り放題の高速料金の効果が現れた。

■余暇活用事業の利用状況

区分	事業名	参加人数
		販売枚数
ツアー	仙台2大アウトレットモールツアー	54人
	八食センター満喫の旅	35人
	安比高原スキーツアー	43人
各種大会	ゴルフコンペ	19人
	新春ボウリング大会	27人
イベント	ビール会（提携：アリーブ）	49人
	ワイン会（提携：タヴェルナ）	41人
	日本酒を嗜む会（北上・西和賀）	30人
	いちご狩り	29人
チケット	プロ野球観戦（楽天戦）	61枚
	北上牛フェスティバル	73枚
	岩手高原スキー場前売リフト券	28枚
	安比高原スキー場前売リフト券	62枚
	雫石スキー場前売リフト券	13枚
	夏油高原スキー場前売リフト券	1,330枚
	前売スケート券（みどりの郷）	38枚
余暇活動助成	提携ツアー助成	19人
	E T C 車載器購入・取付助成	91人

■余暇活用事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
参加者負担金	688,500	ツアー経費	449,900
チケット売上	2,849,650	各種大会経費	138,250
販売手数料	253,635	イベント経費	529,069
		助成金(旅行助成)	22,760
		助成金(E T C)	273,000
		チケット代	3,022,750
合計	3,791,785	合計	4,435,729
		収支差額	-643,944

⑧文化施設利用支援事業

会員数の減少にともない、映画券の販売枚数も減少している。

各種公演のチケットも前年度約290万円の販売収入に対し、今年度は約90万円の収入減であった。特にさくらホールで開催される公演のチケット販売枚数は前年度と比較して約200枚の減であった。

(映画券)

利用施設		平成21年度	平成20年度	増減
ワーナー・マイカル・シネマズ	利用枚数	6,753枚	7,188枚	-435枚
	会員一人当 利用枚数	3.02枚	3.09枚	-0.06枚
盛岡フォーラム	利用枚数	189枚	63枚	126枚
	会員一人当 利用枚数	0.08枚	0.03枚	0.06枚

(公演)

公演 場所	開催日	公演名	販売 枚数
さくら ホール		サクティブ倶楽部	6set
	平成21年4月16日	さだまさシアコースティックコンサート	1枚
	平成21年4月23日	が～まるちよばサイレントコメディ	2枚
	平成21年5月29日	演歌夢の競演	6枚
	平成21年6月13日	ロシア・ナショナルフィルハーモニー交響楽団	4枚
	平成21年7月1日	松竹大歌舞伎	16枚
	平成21年8月5日	映画 旭山動物園物語	1枚
	平成21年8月17日	五嶋龍ヴァイオリンリサイタル	2枚
	平成21年8月25日	明治大学マンドリン倶楽部コンサート	2枚
	平成21年9月6日	コンドルズ日本縦断大転生ツアー	3枚
	平成21年9月11日	天平ピアノコンサートツアー	1枚
	平成21年9月12日	稲川淳二の怪談ナイト	10枚
	平成21年10月11日	東京スカパラダイスオーケストラ	10枚
	平成21年10月23日	北上サロン音楽会	2枚
	平成21年10月29日	ジェロファーストコンサート	28枚
	平成22年2月7日	冬のみちのく芸能まつり	8枚
	平成22年3月13日	岩手ゆかりの詩人・歌人をたどって	2枚
	平成22年3月14日	リズム&ダンス with KAZU 熊谷和徳	2枚
	平成22年3月22日	鼓動「うぶすな公演」	9枚
	平成22年4月4日	齋藤圭士&アケル・ツヴィンゲンベルガー	1枚
	平成22年4月16日	水前寺清子特別公演	8枚
平成22年4月17日	指揮者西本智実によるオーケストラリハーサル&トーク	3枚	
平成22年5月15日	が～まるちよばサイレントコメディ	14枚	
県 内	平成21年5月17日	爆笑ライブ 2009inZ ホール	16枚
	平成21年5月23日	やかましい人々	2枚
	平成21年6月4日	フジコ・ヘミング&スペイン・カメラータ 21	7枚
	平成21年6月5日	グランディエバ・バレエ団	2枚
	平成21年6月11日	大萩康司ギターリサイタル	1枚
	平成21年6月19日	島津亜矢コンサート	5枚
	平成21年6月30日	美輪明宏 音楽会	14枚
	平成21年8月16日	由美かおる文化公演	2枚

公演場所	開催日	公演名	販売枚数
県内	平成 21 年 8 月 31 日	舟木一夫コンサート	6 枚
	平成 21 年 9 月 23 日	さだまさしコンサートツアー	6 枚
	平成 21 年 9 月 26 日	仙台フィルハーモニー交響楽団	2 枚
	平成 21 年 9 月 26 日	ベンチャーズ ジャパンツアー	3 枚
	平成 21 年 9 月 27 日	爆笑バトルライブ in 花巻	11 枚
	平成 21 年 9 月 27 日	秋元順子コンサートツアー	3 枚
	平成 21 年 10 月 4 日	ISAWA クラシックコンサート	5 枚
	平成 21 年 10 月 7 日	小椋佳 「歌談の会」	4 枚
	平成 21 年 10 月 17 日	加山雄三 with ワイルドワンズ	4 枚
	平成 21 年 10 月 29 日	宮本笑里リサイタルツアー	2 枚
	平成 21 年 11 月 7 日	高橋真梨子コンサートツアー	14 枚
	平成 21 年 11 月 14 日	小松亮太「ザ・キング・オブ・タンゴ」	2 枚
	平成 21 年 11 月 20 日	グレン・ミラーオーケストラ演奏会	4 枚
	平成 21 年 11 月 21 日	ワハハ本舗 25 周年	18 枚
	平成 21 年 12 月 13 日	オレンジレンジ ライブツアー	7 枚
	平成 22 年 2 月 11 日	美輪明宏 音楽会	6 枚
	平成 22 年 3 月 28 日	3Woman's Party	1 枚
	平成 22 年 6 月 13 日	清水ミチコお楽しみ会	2 枚
	平成 21 年 1 月 7 日～	古代カルタゴとローマ展	8 枚
県外	平成 21 年 8 月 22 日	ロックロックこんにちは!	8 枚
	平成 22 年 4 月 25 日	矢野顕子 2010「ここが音楽堂！」弾き語りツアー	2 枚
	平成 21 年 9 月 5 日～	ディズニーオンアイス仙台公演	6 枚
	平成 21 年 9 月 9 日～	ブラスト仙台公演	4 枚
	平成 22 年 5 月 1 日～	コレテオ仙台公演	134 枚

■文化施設利用支援事業収支（円）

収入	決算額	支出	決算額
映画券売上	6,942,000	映画券仕入	8,284,400
チケット売上	1,988,520	チケット仕入	1,978,955
販売手数料	73,817		
合計	9,004,337	合計	10,263,355
		収支差額	-1,259,018

⑨休養施設利用支援事業

西和賀町営温泉と沢内バーデンの7施設で、年2回期間限定で希望する会員向けに入浴券の配布を実施した。利用は、前年度より増えており、会員一人あたり約1枚程度の利用となった。

入浴券は、通年でラ・フランス温泉館（入浴・プール）と、期間限定のふたりde入浴券の販売を実施した。ラ・フランス温泉館は、前年度並の販売枚数であったが、ふたりde入浴券の販売は一般販売が増えたこともあり、販売枚数が100枚増えた。

温泉堪能日帰りの旅は、期間限定で指定施設の日帰り入浴と休憩プラン料金の一部を助成して会員に提供する事業で、利用人数は平成19年以降順調に増えている。前年度は、志戸平温泉の

ランチバイキングプランへの申込みが多く、食事の内容を気にしなくてもいい気軽から親子孫の3世代での利用が目立った。

(入浴券の配布)

利用施設		平成21年度	平成20年度	増減
西和賀町営温泉	利用枚数	2,052枚	1,348枚	704枚
	会員一人当り利用枚数	0.92枚/人	0.58枚/人	0.34枚/人
沢内バーデン	利用枚数	1,998枚	1,264枚	734枚
	会員一人当り利用枚数	0.89枚/人	0.54枚/人	0.35枚/人

(入浴券の販売)

利用施設		平成21年度	平成20年度	増減
ラ・フランス温泉館	利用枚数	128枚	131枚	-3枚
	会員一人当り利用枚数	0.06枚/人	0.06枚/人	0.枚/人
ふたり de 入浴券	利用枚数	409枚	300枚	109枚
	会員一人当り利用枚数	0.18枚/人	0.13枚/人	0.05枚/人

(温泉堪能日帰りの旅)

利用人数	平成21年度	平成20年度	平成19年度
合計	67人	38人	11人

■ 休養施設利用支援事業収支 (円)

収入	決算額	支出	決算額
参加者負担金	83,650	日帰りプラン経費	102,580
チケット売上	380,450	チケット仕入	1,312,950
販売手数料	16,000		
合計	480,100	合計	1,415,530
		収支差額	-935,430

⑩ 情報提供事業

情報提供としては、毎月発行している会報、年度1回のガイドブック、ホームページがあり、毎月の会報では、チケット情報など毎月の新しい情報を掲載し、ガイドブックでは、指定店を中心とした会員サービスの案内をしている。

ホームページの情報は掲載情報が収集され次第、掲載している。また、携帯サイトでは指定店情報を常に更新し、最新の情報を携帯からも確認できるようにした。

■ 情報提供事業収支 (円)

収入	決算額	支出	決算額
広告料収入	287,885	印刷製本費	2,181,520
		通信運搬費	611,320
		ホームページ作成・管理費	126,000
合計	287,885	合計	2,918,840
		収支差額	-2,630,955